



5 万分の 1 地質図幅の新刊

若 桜

WAKASA

5 万分の 1 地質図幅 地域地質研究報告

著 者 上村不二雄・坂本 亨・山田直利(地質部)

発 行 工業技術院 地質調査所

取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

・「若桜」図幅は 鳥取市から南東に拡がる地域をカバーしており 大部分は鳥取県 一部は兵庫県にもかかる。この地は 古代因幡文化の中心地で「たちわかれ いなばの山の峰に生うる まつとしきかば いま帰りこむ」(在原行平朝臣) と百人一首に歌われた稲葉山は 旧因幡国府の北に連なる玄武岩の溶岩台地である。彩色壁画で脚光をあびた岡益古墳も この地の新第三系のシルト岩からなる小丘に眠っていた。

・若桜地域の地質は 凡例が60と多いことから分るよ
うに 古生代の三郡変成岩・非変成古生層・超塩基性

岩 白亜紀後期一古第三紀の火山岩・花崗岩類 新第三紀の鳥取層群・照来層群 鮮新世一更新世の火山岩類 さらに第四系と多岐にわたっているが 各分野の専門家の協力によって図幅を作るという 調査所の性格がよく生かされている。

・著者らが鳥取県地域の調査を始めたのは かなり以前のことである。調査の過程で 鳥取県地質図と説明書の作成に協力したり 20万分の1「鳥取」図幅を出版して来たが この図幅では最近の資料や調査結果をとり入れて 従来の考えを大幅に改変している。

・従来と異なったおもな点は 古生界では 三郡変成岩類として一括された来たものを 三郡変成岩と非変成古生層(角谷層)とに分けたことで 両者は断層で接している。三郡変成岩の上には蛇紋岩が低角衝上でのし上げており これらの一部は花崗岩の進入による熱変成をうけている。

・新第三系で大きく変わった点は 中新統の鳥取層群の層序的な取扱いであり ここでは下位から 八頭・私都・岩美の3累層に区分している。また地域の北西から南東にかけて 照来層群までを貫いて 石英閃緑岩一ひん岩の大小の岩体が並んでいる。この方向についての構造的な意味については説明されていないが 興味深い。

・この地は 地質がこのように多様性に富み しかもそれぞれが分布のうえではまとまりがよい点では 地学巡検には好適であり 本書はその手引きとしても格好であろう。

地質ニュース	第301号	9月号
昭和54年9月1日	定価 ¥500	千実費
編 集	発 行	
発行人	工業技術院 地質調査所	
発行所	林 久 雄	
	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951(代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	